

元気村・夢の農村塾は、北空知の農家が中心となって都市部の修学旅行生などを対象に、農業体験や宿泊体験などを提供し、農業・農村の理解者を増やすことを目的に活動している団体です。

今月は、都市部と北空知をつなぐ架け橋となる当団体の活動などについて紹介します。

問合せ
農政課農政係 ☎26-2255)

会員の声

わたなべ しげのり
渡邊 滋典さん

受け入れは大変なこともあります、生徒の笑顔と感謝の言葉ですべて払拭されます。何よりも農業の理解を深めてもらう貴重な時間なので、今後も続けていきたいです。

みぞぐちまさる
溝口 勝さん・めぐみさん

毎回さまざまな生徒と会えるのが楽しみです。普段とは異なる環境での生活に最初は戸惑う生徒ですが、帰る時にはすっかり慣れ、「帰りたいくない」と言ってくれます。

きたばやし ひろみ
北林 洋美さん

今年初めてファームステイを受け入れ、想像以上に楽しかったです！農業体験やジンギスカン、ご当地コンビニなど北海道を満喫する生徒を見て、私たちもうれしくなりました。

よしだしゅういち みか
吉田 秀一さん・美華さん

受け入れにあたり、家族の中では話題が増え、私たちにとっても良い時間を過ごせます。一期一会の出会いを大切にこれからも受け入れます！

塾長のお話

塾長
むらかみ
村上 はるみさん

元気村・夢の農村塾は平成14年に設立し、昨年の3月に20周年を迎えることができました。私は塾長を務めて4年目となり、主に農家・関係機関との受け入れに関する調整や交流サイト（SNS）を活用した広報活動を行っています。もちろん、受入農家としてもこれまで多くの生徒と携わってきました。

長年にわたり受け入れを行っている私ですが、今でも生徒と初めて対面する時は緊張します。ただ、それ以上に生徒のほうに緊張しているの、修学旅行で行ったところやこれから行くところ、普段の暮らしの様子などを聞き、関係性を深めることを意識しています。受入体験はその時期に各会員で行っている作業を手伝う形が基本ですが、豆腐を作ったり、木工加工体験をしたり、わら細工体験などを行う家もあります。このように、それぞれの家で体験できる内容が異なることも私たち農村塾の魅力の一つであり、生徒が集まった際に「私はこんなことをしたよ！」と思いついた花を咲かせてほしいと思っています。

受け入れる生徒は都会に住んでいるので、この地での経験はともないうです。新鮮のようです。各会員が行う農村にちなんださまざまな体験を喜ぶ姿に私たちもうれしくなります。

私たちが提供するものは、農業体験を含む「農村生活体験」です。私たちと一緒に過ごすことで、普段食べているご飯や野菜などがどのような環境で、どのような人が育てているのかを感じてもらい、少しでも農業・農村への理解を深めてほしいと思います。また、この北空知が生徒の「心のふるさと」になればと思っています。

昨年、20周年の記念誌を制作した際に、会員の話から再び北空知に訪れてくれる体験者が想像以上にいることを知りました。ここでの体験をきっかけに食べ物への思いを新たにしたり、将来の職業選択に生かしてくれたらと、本当に私たちの活動は「人生の種まき」なんだと実感します。

元気村・夢の農村塾は、会員のみなさんや送り出される学校や家族、関係機関など多くの方に支えられて今があり、大変感謝しています。会員は農業・農村の魅力を伝える心強い仲間であり、良き相談相手でもあります。農家でなくても農業・農村を愛する方はどなたでも会員になれますので、興味のある方はぜひ一緒に活動してみてください。

「出会いは人生の種まき」

私たち、元気村・夢の農村塾です

農村塾の基本情報

設立

平成14年3月に北空知の19戸の農家でスタート

会員数

21戸（深川市・妹背牛町・沼田町・北竜町・秩父別町）

平成21年の52戸が最大でした。

活動内容

都市部修学旅行生の農業体験などを受け入れており、これまでに193校1万7,175人を迎えています！

受け入れの様子

出合いの集い



受け入れる生徒と初対面！1戸あたり3～4人と少数の受け入れなので、充実した農業体験を提供することができます！

農業生活体験



体験できる内容は、農家や季節によって異なります。短期間ですが、農家と生徒が本当の親子のような関係を築きます。

お別れの集い



体験終了後、それぞれ最後の言葉を交わします。お互いに涙です…。でも、さよならではありません。「また会う日まで!!」

体験者の声

大阪府 女性

修学旅行から7年後、バイクで日本を一周した際に、お世話になった農家へ訪問しました。突然の訪問でしたが「おかえり！やっ」と会えたね！と温かく出迎えてくださいました。「また帰ってこいよ！」「また帰ってきます！」この約束を叶えられ、こんなにうれしいことはありません。

東京都 女性

じゃがいもやそれまで見たことのなかったソバの実の収穫体験を通して、農業の楽しさも大変さも実感することができました。以来、改めて生産者へきちんと感謝しながら食事をしようという気持ちが芽生えました。

北海道 男性

農業体験をきっかけに、今は、私は教員として小学校の教壇に立っています。子どもたちに農業のすばらしさ、食の大切さを伝えています。これからも農村塾のみなさんに負けたくないくらい、大きな「夢」を届けていきたいです！